

博士論文の要旨及び審査結果の要旨

氏名 内山 孝由
学位 博士 (保健学)
学位記番号 新大院博 (保) 第 15 号
学位授与の日付 平成 27 年 3 月 23 日
学位授与の要件 学位規則第 4 条第 1 項該当
博士論文名 腫瘍免疫担当細胞の解明と新しい免疫療法の開発

論文審査委員 主査 高橋 益廣
副査 岩淵 三哉
副査 中野 正明

博士論文の要旨

本博士論文においては、以下の項目について *in vitro* での研究を行い腫瘍免疫学に関する有意義な結果を得ている。

- 1) 分子標的治療薬ダサチニブのリンパ球サブセットに対する直接作用の検討
- 2) $\gamma\delta$ T 細胞培養系を用いた $\gamma\delta$ T 細胞および NK 細胞増加に対するダサチニブ影響
- 3) 抗原特異的細胞傷害性 T 細胞(CTL)の誘導と誘導 CTL のメモリー T 細胞サブセットの解析
- 4) 抗原特異的細胞傷害性 T 細胞の T 細胞受容体 α 鎖可変領域レパトワの解析
- 5) 白血病性形質細胞様樹状細胞株由来エクソゾームの同定とそれを用いた抗原特異的細胞傷害性 T 細胞の誘導

1) ~ 5) に関する研究により、CTL や $\gamma\delta$ T 細胞等の腫瘍免疫担当細胞の性状と機能を解明するとともに、抗原提示エクソゾーム等の新しい免疫療法の開発に関する研究をおこない、有用な知見を報告した。

審査結果の要旨

内山孝由君の博士論文「腫瘍免疫担当細胞の解明と新しい免疫療法の開発」は独創的な研究で、その成果は悪性腫瘍や重症感染症に対する効果的な細胞免疫療法を確立する上で重要な知見である。

本研究の内容の一部は、医学雑誌「*Hematological Oncology*」に、筆頭著者として論文を報告している。

また、本博士論文の内容は、第 42 回および 43 回日本免疫学会、第 24 回日本樹状細胞研究会および 2012 年オーストラリア・ニュージーランド血液学会で発表している。

以上から内山孝由君の博士論文は質が高く、優と評価しうるものである。